



本社 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 5 丁目 24 番 5 号
☎ 03(3606)0119 FAX 03(3606)3339

城南営業所 〒143-0015 東京都大田区大森西 5 丁目 1 番 25 号
☎ 03(3765)6660 FAX 03(3765)6665

松戸営業所 〒270-2231 千葉県松戸市稔台 7 丁目 7 番地の 1
☎ 047(366)2800 FAX 047(366)2803

柏営業所 〒277-0832 千葉県柏市北柏 4 丁目 1 番 15 号
☎ 04(7167)3883 FAX 04(7164)0120

横浜営業所 〒232-0053 神奈川県横浜市南区井土ヶ谷 2 丁目 28-15
☎ 045(315)4001 FAX 045(315)4091

島根営業所 〒696-0003 島根県邑智郡川本町因原 5 19-3
☎ 0855(72)0324 FAX 0855(72)2076

平成30年 11月 (隔月発行) No.236
<http://www.119suehiro.co.jp>

秋の全国火災予防運動が実施されます

空気が乾燥し、火災が発生しやすい春と秋の年 2 回に行われるのが全国火災予防運動。秋の火災予防運動は、今年も11月9日から15日までの1週間実施されます。平成30年度の全国統一防火標語は、「忘れてない? サイフにスマホに 火の用心」です。全国火災予防運動は、火災予防に対する意識を持つことで、火災による悲惨な事故や貴重な財産の損失を防止するのが目的です。最近では、高齢者を中心とする死者の発生を減少させることに力点を置いています。



今年の重点項目は、①住宅防火対策の推進、②乾燥時及び強風時火災発生防止対策の推進、③放火火災防止対策の推進、④特定防火対象物等における防火安全対策の徹底、⑤製品火災の発生防止に向けた取り組みの推進、⑥多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底、となっています。

住宅防火対策では、住宅用火災警報器設置の徹底、住宅用消火器やスプリンクラー設備などの設置を積極的に推進します。住宅用火災警報器

の義務化で住宅火災による死者数が減少し効果が現れていますが、一方で未設置の世帯が約 2 割、各市町村の火災予防条例通りに設置されていない世帯が約 3 割にのぼります。また最近、動作確認を行った世帯の約 1%で電池切れや故障が確認されています。

そこで消防庁では、この火災予防運動の期間中に定期的な点検の実施促進、故障した本体の交換の徹底などを呼びかけていきます。

その他、高齢者の世帯に対しては訪問診断を実施することとし、要配慮者と接する機会の多いホームヘルパーや民生委員など福祉関係者、女性防火クラブ員などに向けて知識の普及を図り、協力を働きかけていくことにしています。

冬は暖房器具を使用する機会が増えますが、くれぐれも火の取り扱いには気を配りたいものです。運動期

住宅防火いのちを守る 7つのポイント

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対にやめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を備える。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

間中、地域ではさまざまな火災予防の訓練や催しが開かれます。

これらの行事に積極的に参加して、火災を未然に防ぎましょう。

統一標語 「忘れてない サイフにスマホに 火の用心」

自動火災報知設備機器

一定期間過ぎたら交換を!

一般社団法人日本火災報知機工業会は、自動火災報知設備機器も他の設備と同様に、その機能と性能の信頼性を維持するには経時的な限界があることから、設置後の一定期間を

経過したものについては更新が望ましいとして、主要機器の「おおよその期間」を表のように設定しています。

なお、表示の年数は、設置後の更新を必要とする目安として

の期間であり、修復などの対応期間ではありません。

| | |
|-------------------|-----------|
| ●受信機 | 15年(※20年) |
| ※電子機器部品を多用していない機器 | |
| ●煙式感知器 | 10年 |
| ●熱式感知器(半導体式) | 10年 |
| ●熱式感知器 | 15年 |
| ●発信機 | 20年 |
| ●地区音響装置 | 20年 |

日本では高齢者＝シルバー、外国は？ “ナニワ商人”はケチではなかった？

問1 この夏は台風が相次いで日本列島を襲い、かつてない豪雨被害が各地で発生しましたね。そのあおりを受け、夏の風物詩ともいえる花火大会が中止になったところも多いか。花火は大きさや形、色などを目で見て楽しめますが、もうひとつの楽しみ方が耳で聞く音です。どんなに美しく大きな花火でも、「ドーン」という腹に染みわたるような音がしなければ興ざめですね。ところで、この花火の音は、どうして出るかご存じですか？「火薬の爆発音でしょ」。そう思いますよね。ところが単なる火薬の爆発音だと思ったら、これが大間違いなんです。さて、その音の発生源は何でしょうか？

問2 シルバーシート、シルバー人材センター、シルバーウィーク……日本では、高齢者を表す「シルバー」という言葉がひん繁に使われていますが、これらはいずれも和製英語で、外国人には通じません。日本で、高齢者＝シルバーとなったのは、国鉄（現在のJR）が50歳以上の夫婦用に販売していた「シルバー周遊券」が最初です。このチケットは、熟年カップルに旧婚旅行をしてもらおうという狙いで発売されたもので、50歳前後の夫婦といえば、そろそろ結婚25周年の銀婚式を迎えるころ。そこで、「シルバー周遊券」と名付けられたとか。昭和48年にはシルバーシートが登場、わが国ではいつしかシルバーが高齢者を表す色となりました。

しかし、外国では高齢者＝シルバー、というイメージは通用しません。では、外国では高齢者の色は何色？体の部分からのイメージですが

…。

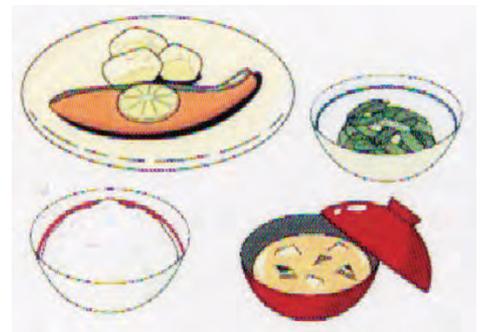
問3 英誌「エコノミスト」の調査部門であるエコノミスト・インテリジェンス・ユニットは毎年、「世界で最も住みやすい都市」ランキングを発表しています。2018年は、1位・ウィーン、2位・メルボルンに次いで大阪が3位にランクインして話題になりましたね。大阪といえば、治安が悪いイメージがありますが、世界的にみるとそうではないのでし

ょうか。そういえば、大阪は訪日外国人にとっても人気の都市ですね。食べ物が安くて美味しく、街の人はフレンドリー。

また、観光だけでなく住むのにも適しています。住居費が東京に比べて格段に安く、一軒家も手に入りやすいので、サラリーマンの通勤圏も30分ほど。東京のように1、2時間かけて通勤する必要もないのです。

ところで、大阪人といえば“ナニワの商人”に代表されるように“ケチ”が相場。ところがこれと正反対の話があります。かつて大阪の商家では、甘いお菓子などの貰い物があると、丁稚や小僧に食べさせていた、といいます。ケチで知られた大阪の商人が、なぜ、そんなに気前がよかったのでしょうか。舌がこえた大阪人だから、甘いだけのお菓子は嫌った？いえ、それにはちゃんとした理由があるのですが、それはいったい何でしょうか。

知ってて
知らない
「体」の常識



バランスのよい食事を！

④9

メタボ対策

メタボ解消は食生活の改善から 主食、主菜、副菜を基本にバランスよく

メタボリックシンドロームについておさらい。メタボは、お腹の内臓のまわりに脂肪がたまる内臓脂肪型肥満に加え、高血糖、高血圧、脂質異常のうちいずれか2つ以上を併せ持った状態をいいます。厚生労働省はこのほど、2013

～22年度の国民健康づくり計画「健康日本21」の中間評価を発表。このメタボリックシンドロームが15年度時点で約1412万人にのぼり、約1050万人まで減らすという目標を達成できず、22年度まで先送りすると明らかにしました。

答えは
4めに
あります

江東など5区が水害避難計画策定

250万人、「親類・知人宅に避難を」

荒川や江戸川の下流域で、海拔ゼロメートル地帯が広がる墨田、江東、足立、葛飾、江戸川の5区はこのほど、大規模水害が起きた場合、5区以外の自治体に避難する「広域避難」の計画とハザードマップを共同で策定しました。避難計画は、5区の人口の9割以上に当たる約250万人の住む地域が浸水し、避難が必要になったことを想定。そして今後、住民に計画を周知・徹底させることにしています。その際、5区以外の親類や知人宅といった避難先確保を呼びかけるなど、日頃の備えの大切さも指摘しています。

5区では大規模水害の犠牲者をなくそうと平成27年、共同で協議会を設置、広域避難計画や住民への情報伝達のあり方を検討してきました。

今回まとめた計画では、荒川と江戸川が同時に氾濫するという、これまでに経験したことがない大規模水害を想定。多くの地域で2週間以上浸水が続き、最大で深さ10メートル以上の浸水となる、としました。その結果、想定被災者約250万人の避難を円滑に進めるため、被害発生が予想される72時間前から、5区共同で情報を発信、48時間前には自主的な避難の呼びかけを始める、としています。

計画では、具体的な避難先は示していません。自らが確保する必要があり、今後、国や周辺自治体などと調整し、避難先の指定や高齢者ら避難に配慮が必要な人の対策なども詰めることにしています。

住宅用火災警報器 設置率、都道府県で格差

福井95.1%、沖縄58.1%

総務省消防庁はこのほど、平成30

年6月1日現在の住宅用火災警報器の設置率調査の結果をまとめました。それによると全国の設置率は81.6%と前年の81.7%に比べて0.1%低下していることが分かりました。また、条例適合率は66.5%で、前年比0.1%のわずかな増となっています。

消防庁では、住宅火災予防に住宅用火災警報器の設置を推進していますが、ここにきて頭打ちになっているのが現状のようです。

ちなみに市町村の火災予防条例で設置が義務付けられている“住宅の部分のうち、1か所以上設置”されている世帯の割合を示すのが設置率で、同じく“住宅の部分全てに設置”されているのは条例適合率となっています。

設置率を都道府県別にみると、次の通りです。

●高い県 ①福井=95.1%、②宮城=90.5%、③鹿児島=88.8%、④東京=88.2%、⑤石川=87.9%

●低い県 ①沖縄=58.1%、②高知=67.8%、③群馬=70.6%、④茨城=71.8%、⑤福島=74.6%

メタボになると動脈硬化を進行させ、日本人の3大死因のうち心臓病、脳卒中という命にかかわる病気を急速に招きます。

メタボのベースとなっている内臓脂肪は、皮下脂肪と比べてたまりやすいのですが、一方で減りやすいという特徴もあり、食べすぎや運動不足などの不健康な生活習慣を改善することで、内臓脂肪は確実に減らすことができます。そのためには運動習慣をもち、食生活を改善することが重要になってきます。

まず食生活の改善は、次の指針に基づいて行いましょう。

①主食、主菜、副菜を基本的に食事をバランスよく。②ごはんなどの穀類をしっかりとする。③野菜・果物、牛乳・乳製品、豆類、魚なども組み合わせる。④食塩や脂肪は控えめに。⑤食文化や地域の産物を生かし、ときには新しい料理も。

もう一度、食生活を見直してはいかが。(つづく)

防災 ニュース

平成29年の火災の状況

出火件数、死者数とも前年より増

総務省消防庁はこのほど、「平成29年（1月～12月）における火災の状況」を発表しました。それによると、総出火件数、火災による死者数ともに前年に比べ増加しているのが特徴で、なかでも住宅火災による65歳以上の高齢者の死者数が全体の7割を超えており、依然として高い数値を示しています。

平成29年1年間の総出火件数は3万9373件で、これはおよそ1日当たり108件、13分ごとに1件の火災が発生したことになります。種別を見ると、建物火災が2万1365件、車両火災が3863件、林野火災が1284件、

船舶火災が72件、航空機火災が6件、その他1万2783件でした。火災による死者数は1456人。うち建物火災が1142人で最も多く、そのうち住宅火災における死者（放火自殺者などを除く）は889人で前年比4人増でした。さらに、そのうち65歳以上の高齢者は646人で前年より27人増で、全体の72.7%を占めていることが分かりました。

出火原因をみると、「たばこ」が3712件と最も多く、以下、「放火」3528件、「こんろ」3032件、「たき火」2857件、「放火の疑い」2305件となっています。

いま 最新の火災受信機は、運用性・機能性が充実！

火災発生やトラブルを早期発見！

火災発生と発報場所をわかりやすくお知らせ！

発報階音声メッセージ機能

火災発生と発報場所を、階メッセージでわかりやすくお知らせ。光る増設スピーカーで光でもお知らせします。



音声は「階段」「エレベーター」などの設定も可能です。

トラブル発生時にもわかりやすくお知らせします。

いまの感知器は機能性に優れています！

熱感知器 発報場所が見つかりやすい。

受信機で復旧操作を行うまで確認灯が点灯。作動した感知器が容易に確認でき、非火災報対策に役立ちます。

煙感知器 非火災報を約1/2に低減。

熱検知機能付きは3つの先進機能が連動。非火災報を約1/2に低減。火災の約6割を早期発見します。

●煙・熱複合判断=煙濃度の上昇に加えて、室温も上昇するといち早く発報。

●学習機能=設置環境を学習して、感度や発報までの時間を自動的にコントロール。

●AI判断=煙濃度の変化を分析して、火災と判断したらいち早く発報。非火災と判断したら推移を監視。



メンテナンス・管理・確認が容易！

火災発報やトラブルなどの確認が容易！

履歴表示機能

受信機で発生した火災発報やトラブルなどの情報を記憶。発生履歴を盤面の液晶で一目でわかりやすく確認できます。



トラブル表示機能

受信機や配線に異常が起きたときは、液晶表示で詳細を確認できます。



クイズのこたえ

問1 実は花火の中には「発音剤」というものが入っています。原料はアルミニウムや三硫化アンチモンといった化学物質で、これらの調合を変えることで「ビュルビュル」「バーン」「ズドン」など音が変わってくるのです。最近では、ドレミの音が出る花火もあるとか。

問2 英語で老人を表す色は「グレー」です。たとえば「年の功」は「gray wisdom」と表現し、「老年の」という慣用表現は「gray haired」で、髪の毛の色から老年=グレーをイメージしています。

問3 お菓子が出されるのはきまって夕食前。つまり、夕食前に甘いお菓子を食べれば、それだけ食欲が減退し、ご飯をあまり食べなくなるという訳。大阪では味噌汁が甘い白味噌なもの同じ理由とか。